

# 地震・津波災害に強いまちづくり に関する意見交換会



町のキャラクター ミーナ

## 愛知県南知多町

# 南知多町の概要

□人口 19,891人 (H25.5末)

□世帯数 7,281世帯 (H25.5末)

□面積 38.25km<sup>2</sup>

- ・ 愛知県の知多半島南部に位置

(半島先端 篠島 日間賀島)

- ・ 三方が海

(東：三河湾 南西：伊勢湾)

- ・ 観光資源が豊富

(名所・旧跡・祭り・海水浴場 等)

- ・ 第一次産業 (農業 漁業)

観光産業 が中心



# 最大クラスの地震・津波における被害予測 (H25.5.30 愛知県防災会議公表)

□建物全壊・焼失 約9,000棟 (全建物棟数 12,935棟)



**約7割の建物が全壊・焼失**

□死者数 約2,300人 (H22国調人口 20,549人)



**町民の9人に1人(11%)が死亡**

## 被害割合 極端に突出

**【 東日本大震災の被災地を上回る被害 】**

※建物被害割合 2位団体 約55%  
死亡者数割合 2位団体 約2%

# 南知多町の災害リスク

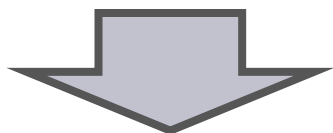
3. 11以前

風水害等

〔毎年発生が懸念〕

※伊勢湾台風(S34.9.26)

被害 死者5人 家屋全・半壊約 1,500戸



3. 11以降

風水害等

+

地震・津波

風水害等

〔伊勢湾台風〕



〔H24台風17号〕



地震・津波

〔3.11町警戒態勢〕



## 3. 11以降の地震・津波対策（考え方）

□最大津波高想定 10m

※H24. 8内閣府中央防災会議



- ・ 命を守る対策
- ・ 人が死なない対策

□最大クラスの地震・津波への考え方

- ・ 3.11を忘れない
- ・ 津波からはとにかく逃げる
- ・ 地震はいつ起きるか分からない身近なものと理解

確実に避難可能な環境（避難路等） ・ 防災意識の醸成のための

**ハード・ソフト両面の対策が必要**

# 3. 11以降の地震・津波対策(ソフト対策)

- 一次避難場所の確保  
(海拔10m以上の高台61か所 等)
- 海拔表示板とリンクした分かりやすい津波避難防災マップの作成・配布
- 情報伝達手段の複数化
- 災害危険度判定調査・津波避難計画策定 (策定中)
- 地域防災リーダー養成講座の実施
- 自主防災会の全地区設置 (全31地区)
- GISを利用した防災対策の見える化
- 津波防災訓練の実施



等

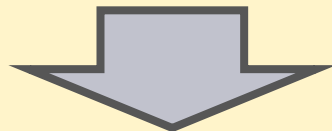
# 3. 11以降の地震・津波対策(ハード対策)

- 避難路等の整備 (H24～)
- 避難場所の確保・整備 (H23～)
- 津波避難看板・海拔表示板等の設置 (H23～)
- 同報系デジタル防災行政無線の整備 (H24・H25)
- 災害拠点・防災拠点の整備 (H24～)
- 公共施設の耐震化 (順次) 等



# 今後の課題

県内最大の被害 = 今までの対策の見直し



町の特徴を踏まえた独自対策

## 主要課題（3点）

- B/Cのみに囚われない「命を守る避難路」としての道路の整備
- 観光旅行者が安心して来町できる町
- 災害時の利用を前提とした公共施設の整備（施設・機能の複合化・強化）